

## 定期報告（ウルグアイ内政・外交：2018年5月）

### 【内政】

#### 1 最新の世論調査結果

5月に発表された政権支持率は、Opción社（調査実施期間：4月3日～18日）が27%（非支持率41%）、Equipos社（調査実施期間：4月24日～5月10日）が30%（非支持率46%）であった。Opción社は、同支持率が2017年同時期とほぼ同じで安定しているとしつつ、「支持しない」と回答した7割が治安を懸念項目に挙げており、治安悪化が支持率に及ぼす影響を示唆。また、Equipos社が同時に行ったマルティネス・モンテビデオ県知事の施政に関する世論調査では、48%が評価すると回答し、2月に実施された前回調査の42%から大幅に改善した。また、同社による政党支持率調査では、FA31%、国民党28%、コロラド党8%、人々の党3%、独立党2%の結果となり、ここ1年間の政党勢力図に大きな変化はない。

#### 2 ペレイラ全国労働総同盟（PIT-CNT）会長の再選

25日、全国労働総同盟（PIT-CNT）総会が開催され、ペレイラ同会長が再選されるとともに、同執行部代表15名が新たに選出され、その内、過去最多となる5名が女性となった。ウルグアイにおける労組組織率は約30%と高く、PIT-CNT加盟者数は約40万人と推定され、社会的に強い影響力を有している。

### 【外交】

#### 1 モンテビデオ県知事及び企業関係者の訪中

1日～10日、ウルグアイ・中国外交関係樹立30周年の枠組みで、マルティネス・モンテビデオ県知事を団長とするビジネス・ミッションが訪中した。同ミッションは、7都市（北京、天津市、杭州市、成都市、広州市、仏山市、深セン市）を訪れ、3都市で投資セミナーを実施し、SF EXPRESS社（ロジスティック）、DAHUA社（防犯カメラ）、HUAWEI社（情報技術）、BYD社（自動車）等の企業を訪問し、初の対中国ウルグアイ資本投資案件であるソナアメリカ中国（フリーゾーン）を視察した。

#### 2 シュナイダー＝アマン・スイス経済・教育・研究大臣の来訪

3日、シュナイダー＝アマン・スイス経済・教育・研究大臣は、メルコスール加盟国歴訪の一環としてウルグアイを訪問し、ニン・ノボア外相と会談した他、アストリ経済財務大臣とともにビジネス・セミナーに出席した。ウルグアイの対EFTA貿易の内約90%が対スイスであり、約40社のスイス企業（金融サービス、情報通信、食品等）がウルグアイに進出している。同国からの対ウルグアイ投資は20億米ドルに上り、両国は投資協定及び租税条約を締結済み。7月にスイスでメルコスール・EFTA経済協定の次回交渉が予定されている。

#### 3 ウルグアイ・アルゼンチン外相会談

4日、ニン・ノボア外相は訪垂し、フォーリ一同国外相と会談した。双方は、両国国境を流れるラ・プラタ川及びウルグアイ川の浚渫工事計画に関する意見交換を行うとともに、国際犯罪組織の取り締まりを目的とする情報共有体制の強化に合意した。

#### 4 ムヒカ前大統領のコロンビア訪問

7日、ムヒカ前大統領は、コロンビア和平プロセス・フォローアップ・推進・検証委員会（CSIVI）代表としてコロンビアを訪問し、同じく代表を務めるゴンサレス元スペイン首相と

もに、サントス・コロンビア大統領と会談した。

#### 5 ニン・ノボア外相の中米訪問

7日及び8日、ニン・ノボア外相はコスタリカを訪問し、アルバラド同国大統領就任式に出席した。9日～11日、同外相は、キューバを訪問し、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）第37回総会に出席するとともに、ロドリゲス・キューバ外相と会談した。

#### 6 ベネッチ農牧水産大臣訪中及び在中ウルグアイ大使館農務部開設

8日～18日、ベネッチ農牧水産大臣は訪中し、韓農業部部長と会談した他、在中ウルグアイ大使館農務部の開設式典に出席した。同農務部は、農牧水産省及びINACが管轄し、2名の中国人スタッフが、衛生規則改正等の情報提供及び中国関係当局との橋渡しを行い、ウルグアイ牛肉の輸出企業を支援する。牛肉を中心とする農牧産品はウルグアイの対中輸出の90%以上を占める。また、ベネッチ農牧水産大臣及び中国当局関係者は、ウルグアイ産生体牛及びブルーベリーの対中輸出解禁に関する協定に署名した。

#### 7 ウルグアイ・韓国外相会談

25日、メルコスール・韓国経済協定交渉開始の発表のため訪韓中のニン・ノボア外相は、康京和韓国外相と会談し、北朝鮮による核の脅威をはじめとする、朝鮮半島が直面する問題解決に向けたウルグアイの支持を改めて表明した。これに対し康外相は、ウルグアイの2016年～2017年安保理非常任理事国任期中の支援及び北朝鮮に関する11回に上る決議を評価した。両外相は、合計人口が3億人におよび、補完的経済関係にあるメルコスールと韓国の経済協定交渉開始の重要性で一致した。

#### 8 ウルグアイ・ドミニカ共和国外相会談

16日、ニン・ノボア外相は、来訪中のバルガス・ドミニカ共和国外相と会談し、同日、両国外務次官出席のもと行われた第2回政策協議の開催、また、2017年に署名済みの技術協力MOUに基づく協力を高く評価した。両外相は、領事業務の協力に関するMOUに署名し、観光及びビジネス目的による入国を査免する新たな法的枠組みの合意を目指すことで一致した。バルガス外相は、現在ドミニカ共和国が輪番議長国を務める中米統合機構（SICA）とメルコスールの協力関係拡大に向けて尽力する旨述べ、また、2019年～2020年任期安保理非常任理事国へのドミニカ共和国の立候補に対するウルグアイの支持に謝意を表した。

#### 9 ウルグアイ・アルゼンチン南極協力拡大に合意

18日、アルゼンチンで開催された第41回南極条約協議国会議の枠組みで、ウルグアイとアルゼンチンは両国の南極協力に関する覚書に署名した。同署名により南極協力の拡大に適した枠組みが整備され、両国は、南極環境調査、資源開発、学術及びロジスティックにおける更なる協力を実施する予定。

#### 10 ベネズエラ大統領選挙実施にかかるウルグアイの反応

20日に実施されたベネズエラ大統領選挙に関し、南米各国が同選挙結果を認めない等の声明を発表する中、当初、ウルグアイ政府は沈黙を守っていたが、野党等からの批判を受け、22日になって外務省がプレスリリースを発出し、ベネズエラを国際社会から孤立させることに反対し対話による解決を訴えた。ウルグアイ外務省は、通常、ラ米・カリブ地域で実施される大統領選挙の終了後に同実施を歓迎するプレスリリースを発出しているが、今回のプレスリリースでは歓迎の意は表されなかった。

### 1.1 ウルグアイ・パナマ政策協議の開催

21日、パナマでインカピエ同国外務次官及びベルガミノ外務次官出席のもと、第5回ウルグアイ・パナマ政策協議が開催された。両外相は、財政当局間協力が進展し、両国が相互に差別的措置の対象国リストから除外することに合意し、その成果としてたことを歓迎した。パナマから、国際犯罪組織の取り締まりを目的とする移民情報の共有に関する交渉が提案された他、港湾管理及び経済特区に関する支援のオファーがあった。一方、ウルグアイは家畜の品種改良等における協力を申し出た。双方は、2019年前半に協力に関する共同委員会開催の必要性で一致し、また、2021年前半に次回政策協議を開催することに合意した。

### 1.2 ウルグアイ・キューバ政策協議の開催

23日、キューバでシエラ同国外務次官及びベルガミノ外務次官出席のもと、第9回ウルグアイ・キューバ政策協議が開催され、24日、両国が2015年に合意した技術協力、経済及び社会分野における関係強化のための作業計画の見直しを行った。シエラ・キューバ外務次官は、米国による同国への経済制裁解除を訴える国連決議に対するウルグアイの支持に謝意を表した。双方は、両国の友好関係を評価しつつ、二国間経済、協力、文化、外交における関係深化の必要性で一致した。2017年、ウルグアイの対キューバ輸出は粉乳、コメ、薬品、変圧器、電気機器を中心に5300万米ドルで、キューバからは薬品、ラム酒、タバコ等100万米ドル弱を輸入した。現在、ウルグアイ乳製品大手コナプロレ社はキューバ当局と同国における工場設立に関し交渉中とされる。

### 1.3 ランカスター-英国防省軍担当大臣の来訪

30日、ランカスター-英国防省軍担当大臣がウルグアイを訪問し、ニン・ノボア外相及びメネンデス国防大臣と会談した。国防分野において、両国は軍施設の視察及び研修等を通じた人的交流を行うとともに、科学調査を含む南極協力の分野で良好な関係を築いており、また、国連PKO人員派遣及び紛争地域における性的暴力の予防に関する分野でも関心を共有している。

#### 【要人往来】

##### ○往訪

- 4日、ニン・ノボア外相の訪垂
- 4日、ベネッチ農牧水産相のパラグアイ訪問（メルコスール農牧大臣会合出席）
- 4日～8日、ムヒカ前大統領のコロンビア訪問（和平プロセス関連会合参加）
- 8日、ニン・ノボア外相のコスタリカ訪問（アルバラド大統領就任式出席）
- 9日～11日、ニン・ノボア外相及びガルシア大統領府予算企画庁（OPP）長官のキューバ訪問
- 8日～11日、ベネッチ農牧水産相の訪中
- 22日～26日、バツソ厚生相のスイス訪問（第71回WHO総会出席）
- 26日、ニン・ノボア外相の訪韓（メルコスール・韓国FTA交渉開始発表）
- 28日～6月3日、バスケス大統領のスイス訪問（WHOハイレベル委員会出席）

##### ○来訪

- 3日、シュナイダー＝アマン・スイス経済・教育・研究大臣
- 30日、ランカスター-英国防省軍担当大臣

（了）